

はじめに

厚生労働省の研究によると、全国の認知症高齢者数は2012年時点で約462万人と推計されており、2025年には700万人、65歳以上の高齢者の約5人に1人に達することが見込まれています。

認知症は誰でもかかる可能性のある脳の病気です。家族や近い人を含め、多くの人に起こりうる身近な病気です。原因となる病気の進行にともなって状態が変化するため、その状態に応じて適切な支援を受けることが大切です。

江戸川区ではお互いが支え合う「地域共生社会」の理念の下、認知症になっても「安心して自分らしく暮らせるまち」の実現を目指しています。認知症の発生を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせるような社会を目指し「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進していきます。

もし、認知症になったときにどのような生活ができるか、また、家族や大切な人が認知症になったときにどのように支えていくことができるのか、このパンフレットを活用し、認知症の症状に合わせて本区のサービスをご利用ください。

目次

認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気です	1 ページ
認知症とは？	2 ページ
認知症の予防につながる習慣	3 ページ
認知症に早く気づくことが大事！	4 ページ
「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」をやってみましょう！	5 ページ
認知症になるとどのように感じるの？	6 ページ
認知症の人を支えるために	7 ページ
症状別ポイント	8 ページ
認知症ケアパス～進行に合わせた支援やサービス～	10 ページ
専門用語や相談窓口を知りたい	12 ページ

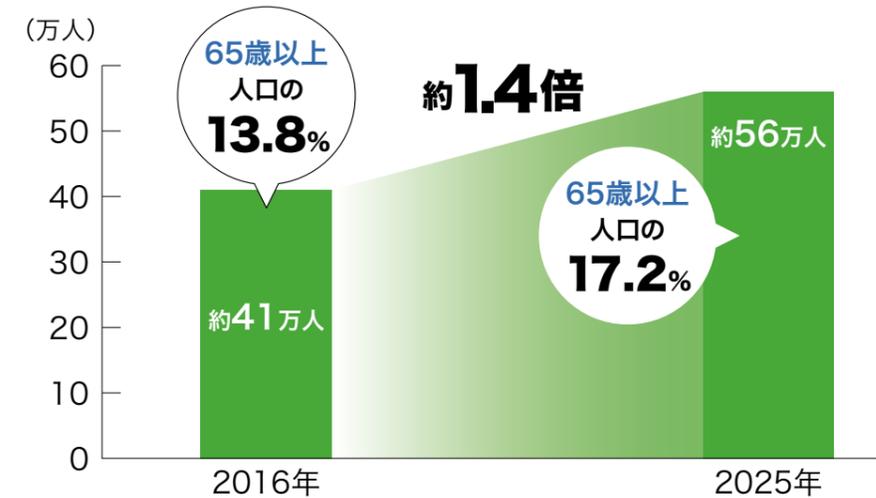


認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気です

認知症は誰でもかかる可能性のある脳の病気です(注1)。

都内では、認知症の人は41万人を超えており、2025年には約56万人に増加すると推計されています。

何らかの認知症の症状がある高齢者(注2)の将来推計



資料)東京都「平成28年度認知症高齢者数等の分布調査」(平成29年3月)

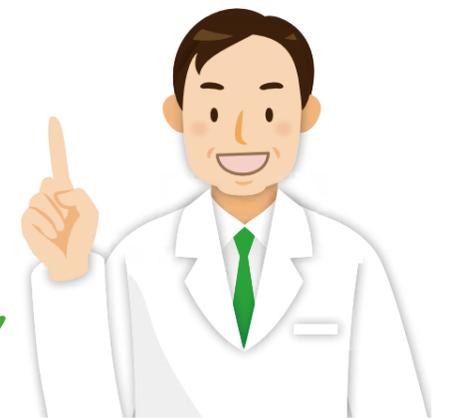
若年性認知症について

認知症は高齢者だけがかかる病気ではありません。

65歳未満で発症する若年性認知症の人は、都内には約4,000人と推計されています。

認知症は、
とても身近な病気です。

認知症の人と家族が
安心して暮らせる
地域をつくるのが大切です。



(注1)平成25年に公表された国の研究によると、65歳以上の高齢者の約15%が認知症だと推定されています。

(注2)要支援・要介護認定を受けている高齢者のうち、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅰ以上の者